



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】Tel.22-7912
【小林商工会議所】Tel.23-4121

2月3日は立春。暦の上では春の始まりです。寒い日はまだまだ続きますが、春の訪れが感じられ、少しうれしくなります。

さて、「南極では風邪をひかない」と言われます。理由は… 風邪の原因となるウイルスは、人の体を媒介して活動するので、人が少ない南極では感染する機会が少ないからだそうです。逆にいえば、人が行き交う学校や地域社会は風邪をひきやすい環境にあります。手洗いやマスクの着用など、感染に気を付けてお過ごしください。

地域の皆さんとしめ縄づくり

1月号で紹介したしめ縄を作った子どもたちと、教えていただいた地域の皆さんです。



【須木中】協力は友愛クラブ



【紙屋中1年生】協力は紙屋校区社会福祉協議会

栗須小 みかん山スマイルフェスタ



前半は保護者も参加しての餅つき大会。全校児童が収穫したもち米を使いました。つきたてのお餅に加え、地域の皆さんが炊き出し訓練で作った芋煮もふるまわれ、みんなでおしくいただきました。5年生は「栗須っ子米」の販売も行い、地域の方もたくさん訪れ、買い求めていました。



午後は毎年行われている地域の防災訓練。学校も含めて栗須地区のさまざまな団体が参加しました。防災のポイントは住民同士の連携だと言われます。子どもたちを含め、地域の人が顔なじみになるこのような行事は、今後ますます必要になってくることでしょう。

野尻中 餅つき

3年生



郷土の伝統行事を学ぶ家庭科の授業。もち米は地域住民が提供し、PTA学年部の協力で実施しました。数年前まで行っていたようで、学校には蒸し器もあることから、今年度復活したそうです。

学校支援ボランティアと聞くと地域住民を思い浮かべますが、キャリア教育の一環として、自分の経験や仕事についての話を保護者にしていただいている学校もあります。保護者との連携にもいろいろな形があります。

おはなし会

紙屋小「クリスマスおはなし会」



- ◆ 2年生の合唱とハンドベル演奏
- ◆ 先生二人によるピアノ演奏
- ◆ 絵本「まどからおくりもの」
- ◆ ペープサート「十二支のはじまり」
- ◆ マジック
- ◆ 劇「かじぞう」
- ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

三松小「冬のおはなし会」



- ◆ 絵本「あのね、サンタの国ではね」
- ◆ ペープサート「ふたりのあさごはん」
- ◆ 読み聞かせ「困ったサンタの実例集」
- ◆ 劇「桃太郎」
- ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

30分ほどのおはなし会。紙屋小は鑑賞教室で、三松小は昼休みに自由参加で行われました。両校の出演者は異なりますが、どちらもわたぐも絵本の会(三松小の保護者と保護者OBのサークル)によるものです。三松小では10年近く続いており、紙屋小では、二人の先生が三松小の保護者で読み聞かせ活動にも参加している縁で、昨年からは実施しているとのことでした。

どちらの体育館も熱気でいっぱいの大盛り上がり。子どもたちの笑顔と歓声に、サークルの方々も熱演で応えていました。朝の読み聞かせの他にも、卒業前の6年生を対象としたものなど、いろいろなおはなし会が、主に小学校で開かれています。

小林中 技術科 ～VR 体験～

2年生



登嶋健太(としまけんた)先生:東京大学先端科学技術研究センター

テーマは「VR(仮想現実)を活用した最先端の福祉の可能性」。VR体験に加え、その仕組みや福祉への活用事例も学びました。いろいろなアプリの体験もあり、物をつかんだり卓球をしたりする映像に、生徒たちは歓声を上げて見入っていました。

登嶋先生は、介護施設で職員として勤務する傍ら、要介護者へのVR回想旅行の提供や、高齢者の福祉を拡張するXR(クロスリアリティ:現実世界と仮想世界を融合させる技術の総称)の研究を行っています。

南小 保育士体験

5年生



すべり台

オニをしたい人?

保育士の仕事を通して自分の将来について考えるこすもす科の学習です。子どもたちはグループで準備した遊び道具を持って南保育園と小林乳児保育園を訪問し、ゲームや外遊びで園児たちと楽しく過ごしました。「もぐらたたき」(左の写真)では、かわいいモグラが箱から顔を出す度に笑い声が起きていました。

野尻小 親子で学ぶ防災教室

5・6年生



町元博文さん
NPO法人
宮崎防災士
ネットワーク

給水バッグ

学校保健委員会の取組です。講師の町元さんは元兵庫県警の警察官。阪神・淡路大震災で自らも被災した体験もお話してくださいました。また、マグニチュードが0.2大きくなるとエネルギーは2倍、1大きくなると32倍になるなど、基本的な地震の話や非常用トイレの作り方と凝固剤の実演もあり、災害への対応に役立つ情報が満載の教室でした。

【主な内容】①地震が起きるしくみ ②地震の規模と揺れ ③阪神・淡路大震災、能登半島地震、熊本地震の被害状況 ④直下型の大きな地震 ⑤大きな地震への対応 ⑥(児童への問いかけ)今、大きな地震が起きたらどう行動しますか? ⑦地震で家の中に閉じ込められたら ⑧台風が来るときの注意 ⑨道に水があふれた時の避難行動 ⑩非常用トイレについて

西小林中 駅伝ロードレース大会



総合運動公園での大会に、小林高校の男女駅伝部30名が参加。ウォーミングアップの仕方を指導したり、中学生の伴走をしたりして、大会を盛り上げてくれました。

駅伝のスタート前には、6チームが、肩を組んだり大きな声を出したりして気持ちを一つにしていました。

細野小 そばの収穫

4年生



「めぐり棒」でたたいて実を落とします。

唐箕(とうみ): ハンドルを回し、風で葉やちりなどを吹き飛ばして実を選別します。

9月上旬にまいたそばを、今年の11月下旬に収穫しました。鎌で刈り取った後、昔のやり方を教えてもらいながら収穫しました。10月にはそばの花のスケッチ大会もしています。そばの栽培は細野地区営農組合とJAこばやしの皆さんの協力で、毎年行われています。

細野中 13歳のハローワーク

1年生



1年生のこすもす科。講師はキャリア教育支援センターが依頼した様々な職種の皆さん5名。最初に自己紹介を兼ねた仕事の紹介、その後、クロストーク(出席者同士や生徒とのやりとり)を通して、働くことについての学習を深めました。質問への答より…

- ◆ 仕事から逃げ出したい時は、「30年後には『面白かったよ』と言えるようになる」と思うと楽になります。
- ◆ 身体が健康だとメンタルも強くなります。
- ◆ 「つらい・忙しい・大変」という言葉をできるだけ使わないようにしています。
- ◆ 仕事の内容よりも人とのつながりが大変な時もあります。
- ◆ 100人の中で1人からでもほめられたらうれしいです。
- ◆ (一緒に仕事をしたいのは?) ポジティブな答えを返してくれる人。頼んだこと以上のことをやってくれる人。誠実な人。当たり前前の方が当たり前前の人。
- ◆ (今のうちに13歳がやっておくといのは?) ◆ 海外のニュースなど、情報をたくさん得ておくこと。性格上苦手な人と仲良くなれるよう挑戦してみる。話せる英語。
- ◆ 仕事上必要なのは、あいさつ・返事・時間を守ることです。